

議会だより

# みなみちた



平成 29 年 2 月 1 日発行

第158号



12月定例議会の審議結果	2
委員会スポット	3
常任委員会合同行政調査	4
一般質問（7名が登壇）	5～12
行政視察の受け入れ	13
一般質問その後どうなった？	14

豊浜まちづくり会が、住民会議で「里山を活かした貝がら公園の復活」を取り上げ、実行委員会が、同公園の整備を行っている。

写真は、友愛の森休憩所。

# 12月定例会

12月定例議会は12月6日から16日(11日間)の会期で開催し、「南知多町職員の降給に関する条例の制定について」始め議案13件を審議しました。

採決の結果は、以下のとおりです。

件名		結果	榎戸陵友	榎本芳三	鈴木和彦	松本保	吉原一治	山下節子	藤井満久	清水英勝	高原典之	石黒正重
条例	南知多町職員の降給に関する条例の制定について	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	×
	南知多町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	×
	南知多町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	×
	南知多町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	南知多町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	南知多町税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	南知多町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
平成28年度補正予算	一般会計(第3号)	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	×
	介護保険特別会計(第2号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	水道事業会計(第1号)	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
その他	知多南部衛生組合規約の変更について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	知多地方教育事務協議会規約の変更について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の推薦について	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、×は反対。議長(松本 保)は採決に加わらない。

# 委員会スポーツ

本会議より付託された議案などについて、12月9日に文教厚生委員会、同13日に総務建設委員会を開催し、審議を行いました。

両委員会での主な質疑は次のとおりです。

## 決算関係

◆平成28年度一般会計補正予算（第3号）

**問** 臨時福祉給付金給付システム改修委託料及び臨時福祉給付金の内容はなにか。

**答** 臨時福祉給付金給付システム改修委託料は、今回の給付金を支給するために、既存のシステムを改修する委託料である。

また、臨時福祉給付金は、対象者ひとりあたり1万5

千円を支給する給付金である。

**問** 臨時福祉給付金給付事業が、平成28年度内に終了しないのは、どのような理由か。

**答** 国は、平成28年度内の支給開始を基本としているため、本町においても年度内支給に向けて事業に着手していくが、事務の準備期間を要することから、平成29年3月から5月を申請受付期間として予定しており、年度内の事業終了ができないためである。

**問** 知多南部衛生組合負担金の減額の要因はなにか。

**答** 主な要因は、平成27年度のごみ処理量が減少したことによる、繰越金の精算である。

## 条例関係

◆職員の降給に関する条例の制定について

**問** 心身の故障による降格を行う場合の受診命令に従う義務について、職員がこれに従わなかったときに罰則などはあるのか。

**答** 心身の故障による降格を行う場合は、医師2名の診断を必要としているが、職員が受診命令に従わなかったことにより、直ちに不利益を受ける規定は設けていない。

◆議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 議員の期末手当の支給割合を引き上げた場合の影響額はいくらか。

**答** 議員10名の影響額は、総額30万3千円である。

◆特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 特別職の期末手当の支給割合を引き上げた場合の影響額はいくらか。

**答** 特別職3名の影響額は、総額23万1千円である。

◆南知多町税条例等の一部を改正する条例について

**問** 法人町民税法人税割の税率の引下げに伴う影響額は、どの程度か。

**答** 平成28年9月末現在で、仮に算定すると142万7千1千円となる見込みである。

# 常任委員会合同行政調査

11月1日・2日の2日間、文教厚生常任委員会と総務建設常任委員会が合同で、長野県下條村と南木曾町で行政調査を実施しました。  
下條村の若者の定住促進、南木曾町の文化財保存について、今後の議員活動の参考となる、大変有意義な調査となりました。



下條村の職員の方から、村のこれまでの取り組みについて説明を受けた

## 【長野県下條村】

下條村は、村として早くから少子化対策に乗り出し、その成果を上げ、全国有数の高い出生率を誇り、また、それを維持しているところ

から、「奇跡の村」と呼ばれる。

今回の調査では、若者定住促進住宅を始め、人口減少対策として、いろいろな施策を聞き取ることができ、大いに参考となるものであった。

人口減少は本町にとって、最大の課題である。

今後、下條村の人口減少策の施策を参考にしながら、南知多町においてもいろいろな視点から研究していく必要があると感じた。



南木曾町の職員の方から、妻籠宿の保存と博物館について説明を受けた

## 【長野県南木曾町】

南木曾町は、妻籠宿とその周辺一帯を重要伝統的建造物群保存地区として保存し、観光資源としても活用している町である。

その妻籠宿内にある博物館の年間入館者数は、南木曾町の人口の10倍程度に当たる、約4万人である。

また、博物館の一部（脇本陣奥谷）では案内ガイド

の説明のもと、施設見学をさせていただいたが、ガイドの説明は声が大きく明瞭で話自体も大変わかりやすいものであった。

本町でも内田家で案内ガイドの方に活躍していただいているが、ガイドの質の良さということは来館者にとって付加価値を与えるものであると改めて感じた。

今回の調査では、文化財保護施策に取り組んでいくことの必要・重要性を再認識するなど、今後の文化財保護行政を考える上で、大変有意義なものであったと強く感じた。

# 南知多町政を問う！

## 一般質問

## 7人の議員が一般質問

定例会初日と2日目に一般質問が行われ、7人の議員が町政について質問しました。

通告順（発言順）に一部を抜粋して掲載しています。

### 6 清水 英勝 議員

- 1 津波発生後、数日間をどのように行動したらよいか
- 2 海っ子バス「小野・岩屋」運行について

### 7 榎戸 陵友 議員

- 1 健全財政と少子化対策を考える
- 2 古い町並み保存と博物館で観光振興を
- 3 南知多老人福祉館（愛称ビラ・マリーン南知多）について

### 8 高原 典之 議員

- 1 ビラ・マリーンの有効活用を

### 9 吉原 一治 議員

- 1 町公民館及び町体育館跡地の有効利用について

### 10 榎本 芳三 議員

- 1 南知多町の人口について
- 2 災害時の町民の避難について
- 3 知多地方税滞納整理機構について

### 11 山下 節子 議員

- 1 学校給食費の無償化を
- 2 公契約条例について

### 12 石黒 正重 議員

- 1 南知多町の住民総活躍について

#### 一般質問とは

議員が、町の行政全般にわたり、町長を始めとする執行機関に対して行う質問を、一般質問といえます。

本議会では、議員一人につき、質問・答弁を含め60分以内で完了することとしています。

# Q 一次避難場所での低体温症対策は 誰が何を準備するのか

## A 町が物資を届けるのは困難なので 自主防災会や各個人で準備してほしい



清水英勝議員

### 津波発生後 数日間の対策は

**問** 津波警報解除まで、一次避難場所での待機する必要があると想定しているか。

**答** 大岩総務部長 解除時間の想定は困難であるが、東日本大震災では、津波警報の発令から解除まで、最長40時間41分かかっている。

**問** 一次避難場所での低体温症対策は、誰が何を準備すべきか。

**答** 大岩総務部長 帽子や厚手の手袋などで十分に保温し、防寒対策をすることが大切である。

**問** 町が低体温症対策に必要な物資を届けるのは困難なので、自主防災会や各個人で準備していただきたい。

**問** 避難所へ移動する判断のタイミングは、津波警報解除が基準でよいか。

**答** 大岩総務部長 津波警報解除後も津

波注意報は発令されているので、町からの避難指示が解除されるまで、一次避難場所からの移動は避けていただきたい。

**問** 一次避難場所に留まっていることを救助隊に知らせる手段はなにか。

**答** 大岩総務部長 また、早急な対応が必要なケガ人がいる場合はどうすればいいか。

**問** 避難所への移動が困難な場合は、災害対策本部へご連絡いただきたい。

**答** 大岩総務部長 また、ケガ人がいる場合は、119番通報または災害対策本部に連絡をいただきたい。

**問** 岩屋公民館（山海地区避難所）には、何人くらいの住民が避難してくる想定か。

**答** 大岩総務部長 また、収容可能人員と建物の耐震対策はどうか。

**問** 山海地区の避難所への避難者数は、約530人を想定している。

岩屋公民館の収容可能

人数は57人。昭和58年建築であり、耐震基準を満たしていると考えている。

**問** 岩屋公民館に、テント、仮設トイレなどの災害用物資や、避難所運営マニュアルは整備されているか。

**答** 大岩総務部長 現在、テント、仮設トイレなどの災害用物資の備蓄や、避難所運営マニュアルは設置していない。

### 海っ子バス運行について

**問** 「小野・岩屋路線」を始め、海っ子バス運行の問題点は、

**答** 鈴木企画部長 小野・岩屋寺バスの1日当たりの利用者数は1人以下で、利用客数が少ない点が問題。海っ子バス全般的な問題点は、運行委託料の増加。今後は、いかに経費を削減して、利用客を増やし、効率よく運行するかが課題。



海っ子バスは、効率的な運行が課題

すべての路線で運行ルートの見直しや運行ダイヤの見直しを検討していく。

**問** 海っ子バスの観光振興への寄与について「小野・岩屋路線」をどう考えるか

**答** 鈴木企画部長 通学・通勤者の利用が多い平日と観光客の利用が多い土日・祝日の運行ルートや運行ダイヤを分けるような変更を検討したい。

小野・岩屋寺については、観光客の多い、土日・祝日の昼間の時間帯の乗り入れを検討していく必要があると考えている。

# Q ビラ・マリン南知多購入の経過・原因はなにか

## A 防災拠点施設として取得するよう師崎地区より陳情書が提出されたため



榎戸 陵友 議員

### 健全財政と少子化対策を考える

**問** 長野県の下條村は、職員意識改革、資材支給事業、若者定住促進事業などにより実質公債費率全国一位。また、少子化に歯止めをかけた奇跡の村です。

**答** その事業や政策を研究する価値があるのではないか。本町では、どのような若者定住促進事業が行われているか。

**答** 鈴木企画部長  
空き家バンク制度による物件情報の提供及び、本制度の利用者に対し、改修費補助、家賃相当分補助、新築費補助などを行っている。

保育所では、同時入所保育料の無料化や低年齢児の受入体制などを通し、子育て世代の支援を行い、第3子以降の子どもの誕生をお祝いする子育て支援金の支給も続けている。

子ども医療費では、次年度から高校生まで入院・通院の無料化を実施する見込みである。

さらに、農漁業の新規就業を支援するため、農業次世代人材投資事業交付金の給付や農林漁業新規就業者支援事業での家賃補助を実施している。

**問** 若者向けマンションを建設してはどうか。

**答** 吉村建設経済部長  
本町のマンションの需要は減少傾向にあり、その状況において、町営で安価なマンションを建設し定住者を募るのは、民間業者の経営を圧迫することになるので、現在は考えていない。

### 古い町並み保存と博物館で観光振興を

**問** 南知多町振興基本計画などをかんがみ、駐車場の整備や博

物館の建設、古い漁師の家を町並み保存し観光散策コースの作成や、町の物産展を開催してはどうか。

**答** 両島の玄関口として、町の観光の名所として、ふさわしい場所になると考えるがいかがか。

**答** 吉村建設経済部長  
駐車場や博物館は、用地や財源の問題で難しいと考えるが、物産展については、現在の観光センター付属施設用地において、不定期であれば実施できる可能性があるため、検討していきたい。

南知多町 振興基本計画 全球版

南知多町の将来像  
太陽と海と緑豊かなまちづくり  
～人と自然！ みんなの汗で光るまち～

■ 計画の趣旨  
南知多町では、市民と行政が共通の目標を持ち、一体感をもって地域づくりを推進していくため、各地域の強みととも、地域の資源を活かし「南知多町振興基本計画」を策定しました。この計画は、資源や利便の割りにとらわれず地域の潜在的な魅力を最大限に引き出し、一つでも多くの事業の実現できるように、地域と行政の力を合わせて取り組んでまいります。

■ 実施計画  
行政機関、若手職員の中心とした町内検討会（プロジェクトチーム）や町民会議や検討会を行うとともに、町民の意見を出していただき、町民協議会を開催し、地区の主要課題や町民の安心・安全、業務にむけて必要な事業の推進など各々の目的の達成を第一とし、町民と行政とが一体となって取り組むことと定めました。（全経費は、南知多町管内の自治体から集まるもの。）

■ 人口のみみる本町の概況  
人口・世帯数推移（平成25年推定値）

人口	20,549人	15-19歳	2,202人	高齢者率	29.5%
男性	9,948人	15-19歳	1,244人	15歳未満人口	1,197人
女性	10,601人	15-19歳	958人	15歳未満人口	1,271人
		65歳以上	6,081人	65歳以上人口	2,449人
		65歳以上	21人		

振興基本計画（平成25年3月策定）

### 南知多老人福祉館（ビラ・マリン南知多）について

**問** 6月定例議会の一般質問の中で、ビラ・マリンの購入を提言させていただいた。そのときの町の答弁は、「今後検討しよう」とであったが、その後、県に対してビラ・マリンの取得を検討する旨の意思表示をしたと新聞で報道された。

**答** その経過・原因は何か。

**答** 大岩総務部長  
地域内の避難所がないため、南知多老人福祉館を防災拠点施設（災害避難所）として町で取得するよう、師崎地区の4団体（師崎区、師崎まちづくり協議会、師崎漁業協同組合、師崎商工会）の代表の連名で陳情書が提出され、町民の安全・安心を最優先に考えたからである。

**Q ビラ・マリーンの購入は  
町執行部で統一した判断か**  
**A 町長を含め町執行部の  
統一した判断に基づき決定した**



高原典之議員

**ビラ・マリーンの  
有効活用を**

**問** 南知多町が、愛知県  
に対しビラ・マリ  
ーンの購入の意思を表明し  
たが、今回の判断は、町  
長はもとより、町執行部  
で統一した判断か。

**答** 大岩総務部長  
ビラ・マリーンの取  
得については、庁内で  
様々な観点から、十分な  
議論を重ねており、町長

を含め町執行部の統一し  
た判断に基づき決定した  
ものである。

**問** この施設全体を、常  
時利用できる状態に  
保った場合、施設の維持  
管理費はいくらぐらいか  
かるのか。

**答** 大岩総務部長  
今までの状態で施設  
を維持しようとする、  
また、その費用はどこ  
が負担していくのか。

光熱水費や保守点検費用  
などで、年間数千円ほ  
どかかるが、避難所とし  
て使用する場合は維持管  
理費がどれだけ必要かに  
ついては、費用を極力抑  
える観点から、調査して  
いる状況である。

なお、維持管理費は、  
町が負担する考えである。

**問** 町費以外で維持管理  
費をねん出できない  
状況になる場合は、将来  
ずっと町費を投入し続け  
る考えか。

**答** 大岩総務部長  
この施設の取得に対  
しては、緊急防災・減災  
事業債を活用する予定で  
ある。この地方債は、地  
方交付税参入が70%あり、  
実質30%の負担で取得で  
きることになるが、使途  
が防災・減災事業に限ら  
れるため、利用への制限  
が生じることになる。  
したがって、災害時の  
避難所として活用してい

くため、町費以外では維  
持管理費をねん出できな  
いと考えている。



購入が予定されているビラ・マリーン南知多



維持管理費が懸念される施設（ビラ・マリーン南知多の内部）

# Q 町公民館の建替えも視野に入れて 地域と連携して有効活用を図ってはどうか

## A 必要な機能など地域の要望を聞き 検討していく



吉原一治議員

### 町公民館及び 町体育館跡地の 有効活用について

**問** 多くの公共施設が老朽化しており、施設の修繕、その他の維持管理に係る費用が大きくなっている。

**答** 一方で、公民館などの公共施設は、世代を超えて地域のきずなを深める大切な拠点施設である。老朽化した町公民館の規模や構造、建築経過年数など施設の現状はどうか。

**内田教育部長**  
敷地面積は、1098㎡、建物は、鉄筋コンクリート造3階建てで、延床面積は約479㎡である。  
昭和48年に建築され、43年が経過している。平成19年に行った耐震診断では、※IS値が0.57で、「大地震に際し、倒壊又は崩壊する危険性の

ある建物」とされる判定を受けている。

**問** 老朽化に伴い、今後さらに施設の修繕の必要な箇所も費用も増えていく心配がある。今後の修繕や改修の見込みはどうか。

**答** 内田教育部長  
修理改修が必要な箇所は、建物全体に及んでおり、できれば来年度、外壁及び建具の補修工事を実施したいと考えている。

今後、空調設備の取り替えや、階段・廊下の壁の補修、浄化槽の修繕などが必要になると見込まれる。

また、耐震補強は、平成19年に行った試算を基に、少なくとも1億数千円が必要と考えている。

**問** 町財政の厳しい中、健全財政と地域の拠点を考えていかなければならない。  
今後、規模を縮小して建替えることや、子どもや高齢者向けの機能をおわせもつ地域の施設として整備することなどを含めて、地元地区と連携しながら検討していくことについての考えはどうか。



町公民館と、旧町体育館跡地の駐車場（豊浜堀奥）

**答** 石黒町長  
町のほとんどの施設で老朽化が進んでおり、公民館もこれまでと同じ考え方で建物を造っていくことは難しいと考えている。

地域からのご要望やご提案を聞きながら、今後、公共施設の再配置計画を進める中で、その財源も含めて検討していくことになる。

※ IS 値とは…構造耐震の指標。国土交通省の基準では、0.6未満の建物は「震度6強の地震で崩壊、倒壊する危険性がある」とされ、0.3未満なら「危険性が高い」とされる。

# Q 今後、どのように人口減への対策を進めていく予定か



榎本芳三議員

# A 「地方版総合戦略」に沿って 住みやすいまちづくりを推進する

## 南知多町の人口について

**問** 現在のまま人口が減少していくと、平成32年の人口はどのようになるか。

**答** 鈴木企画部長

本町では、平成28年3月に町の長期的な将来人口の展望を示すため、「南知多町人口ビジョン」を策定した。

その中で、平成32年の人口を1万7769人と推計している。

**問** 今後、どのような人口減への対策を進めていく予定か。

**答** 鈴木企画部長

本町では、「南知多町人口ビジョン」と同時に、「地方版総合戦略」を策定した。

現在、この総合戦略に沿って、若者の転出抑制や、出産・子育て支援、移住・移転促進などを通じて、町の活力の維持に努めているところである。

人口減対策は、住みやすいまちづくりを推進することにほかならない。引き続き、防災減災対策はもとより、公共交通・健康づくりや福祉の充実などの施策を着実に推進し、日本一住みやすいまちを目指して努力する。



平成28年3月に策定された「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」

## 災害時の町民の避難について

**問** 本町が、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されたあと、町内でどれだけの避難路が整備されたのか。

**答** 大岩総務部長

修繕を含め、平成26年度に11件、平成27年度に5件、本年度は2件が完了し、3件を発注済みである。

**問** 内海の中之郷のように、すぐ近くに高台がない地域でも、安全に避難ができるようになっていくが、高齢者など体力がなく、歩く速度も遅い人でも、本当に大丈夫なのか。

**答** 大岩総務部長

平成25年3月に消防庁が作成した「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書」では、歩行困難者などの歩行速度の目安として、秒速0・5m

と示されている。

平成27年9月に策定した「南知多町津波避難計画」においては、避難速度を秒速0・5mとした場合の避難が困難な地域を確認したが、内海の中之郷はその中には含まれておらず、津波到達までに避難が完了できると考えている。

## 知多地方税滞納整理機構

**問** 知多地方税滞納整理機構に引き継いだものうち、徴収できたものの件数と金額はどれだけか。

**答** 大岩総務部長

知多地方税滞納整理機構へ平成27年度に引き継いだ件数は146件で、滞納金額は5093万6367円。

そのうち納税がされた件数は、119件で、納付額は2556万7638円である。

# Q 給食費無償化や一部補助などの 対策を講じてはどうか

## A 給食費の無償化などは考えていないが 食材費の補助の増額については検討中



山下節子議員

### 学校給食費の 無償化を

**問** 全国調査では、小中学校の給食費の無償化を実施する自治体は45あり、一部補助も含めると199市町村で実施されている。

**答** 学校給食法第11条の規定に係る文部科学省の通達について、どのように認識しているか。

**内田教育部長**  
町教育委員会としては、学校給食法第11条の規定は、学校設置者と保護者の学校給食費における負担区分を明らかにしたものであるものの、学校設置者である自治体が、給食に係る食料費を補助、負担することを禁止した趣旨ではないと捉えている。

**問** この通達に基づいて小中学校での給食費無償化や一部補助などの対策を講じてはどうか。

**内田教育部長**  
**答** 本来、食費は個人の負担に帰すべきものであり、基本的に、給食の材料費については、今後も保護者にご負担をいただくものと考えている。

給食費の一部補助については、消費税が5%から8%に引き上げられたことを受け、給食の質の低下を招かないよう、保護者負担は据え置いた上で、平成27年度より食材費の約3%分を町の負担としている。

また町の厳しい財政状況ではあるが、天候不順による近年の食材費の高騰などを踏まえ、来年度における食材費に係る町の補助の増額については現在、検討中である。  
「給食費の無償化」「第3子以降の無償化」については考えていない。

### 公契約条例に ついて

**問** 南知多町が発注した公共工事や、委託業務に従事する労働者の賃金や労働条件、社会保障への加入について、法律に基づいて行われるよう町ではどのような対策を講じているか。

**大岩総務部長**  
**答** 公共工事や委託業務の契約書に添付されている「南知多町公共工事請負契約約款」及び「南知多町設計測量等委託契約約款」において、労働関

係法令などの法令遵守を義務付けている。  
また設計金額500万円未満の工事については、特約条項として、主任技術者、専門技術者及び現場代理人は、請負者と直接的な雇用関係が必要のため、健康保険証の写しの提出を義務付けている。

一定水準以上の賃金の支払いを規定する公契約条例を制定することは考えていないが、国及び近隣自治体などの動向の把握に努めていきたい。



# Q 町の空き家バンクは、民間とどのような連携が図れるか

## A 民間と協力できることがあれば、積極的に取り入れ制度の充実を図りたい



石黒正重議員

### 南知多町の住民総活躍

**問** 豊浜の放課後児童クラブは、20名の定員に対し3名の入所しかない。

住民への周知はどのように行なったのか。また、住民が参加する運営規約はあるか。

**答** 柴田厚生部長

町広報7月1日号と町ホームページで、開設のお知らせと入会児童の募集を行った。また、豊浜・大井・師崎小学校の低学年の児童の保護者には、学校を通じてチラシを配布している。住民が参加する運営規約は、現在はない。

**問**

住民会議で提案された南知多振興基本計画に位置付けられた、石の浦開発計画が宙に浮き、観光の目玉の貝がら公園や、住民の活動拠点である豊浜の町公民館も放置

状態。

住民にやる気はある。

町は、豊浜地区を重点地区と位置付ける考えはあるか。

**答** 鈴木企画部長

本町は特色ある9つの地区からなっている。町全体の発展のためには、それぞれの地区の環境や特徴に応じた振興を図る必要があると考えているので、特定の地区を指定し、特別に重点地区とすることは考えていない。



貝がら公園と豊浜漁港

**問**

本町の移住者に対するサポートは、町民

と上手く協働できていないと思う。

民間は一人の移住者にあらゆるサポートができるかと考えるが、町の空き家バンクは、民間とどのような連携が図れるか。

**答** 鈴木企画部長

民間との連携については、現在、各地域のまちづくり協議会に移住者が地域に溶け込み、安心して生活していただくための「空き家相談員」をお願いしている。

空き家バンク制度を実施、充実させていくには、役場だけではできない。民間と協力できることがあれば、積極的に取り入れ、制度の充実を図っていききたい。

**問**

本町には、三河湾国立公園、南知多県立自然公園の区域がある。これらの自然公園をどのように認識し、これまでに、公園としての機能を持つ整備や自然保護法

の目的である自然の風景地の保護と、生物多様性の確保はどのように実施したか。

**答** 吉村建設経済部長

自然公園への認識は、優れた自然景観に恵まれた地域を保護し、末永く後世に引き継ぐとともに、生物多様性の保全に重要な役割を果たしていると考えている。

自然公園区域内における町が行った公園の機能を持つ整備は、大井の聖崎公園を都市計画公園として整備した。

自然の風景地の保護は、自然公園区域内で建築物の新築など一定の行為を行う場合に、町を経由し許可届出などを求めている。

生物多様性の確保は、愛知県が策定した「あいち生物多様性戦略2020」の中から、できることから取り組みを始めている。

# よひいそ南知多町へ

## 〳他市町村行政視察の受け入れ〵

### 【空き家対策】(2021)

平成28年10月3日、奈良県王寺周辺広域市町村圏議長会の疋田会長始め15名が来庁しました。

本議会からは、松本議長が出席し、地域振興課職員より、本町の空き家バンク制度の説明のあと、空き家対策の現状や運用にあたっての課題などについて、質疑と意見交換が行われました。

**空き家情報登録「空き家バンク」制度**

太陽と海と 緑豊かな  
南知多に住んでみませんか？




奈良県王寺周辺広域市町村圏議長会の視察の様子

## 【漁業と観光業の連携によるブランド化や体験型観光】(2021)

### 観光】(2021)

平成28年10月26日、和歌山県那智勝浦町議会、経済常任委員会の亀井委員長始め9名が、日間賀島を訪れました。

本議会からは、鈴川議員が出席し、日間賀島観光協会の鈴木会長と、日間賀島まちづくり協議会の鈴木会長より、日間賀島における漁業と観光業の取り組みについて、ご説明いただいたあと、質疑と意見交換が行われました。



和歌山県那智勝浦町議会の視察の様子

## 【内海海水浴場の運営・管理の内容など】(2021)

### 運営・管理の内容など】(2021)

平成28年11月16日、石川県内灘町議会、総務産業常任委員会の太田委員長始め9名が、内海を訪れました。

本議会からは、榎本副議長が出席し、内海観光協会の鈴木会長より、内海海水浴場の運営・管理についてご説明いただいたあと、質疑と意見交換が行われました。



石川県内灘町議会の視察の様子

## 一般質問、その後どうなった？

平成26年3月定例会において、都市計画道路「豊丘・豊浜線」に関し、次のような質疑・答弁がされました。

**Q** 豊丘・豊浜線は、交通量も多く、本町の重要な幹線道路だが、役場前から一部が開通したのち、20年以上も整備の進展がない。

豊丘・豊浜線は、豊浜漁港と南知多道路を結び、町の産業にとって非常に重要な大動脈である。

今後の見通しはどうか。

**A** 県に対しては、重点事項として強く要望している。県によると、国道までの270メートルを平成27年度事業実施に向けて、予算要望などの準備を進めていくとしている。

その後、都市計画道路「豊丘・豊浜線」はどうなったでしょうか？

県は平成27年度に用地測量を実施し、平成28年度には、用地の鑑定評価及び建物などの物件調査に着手しました。

町も、この道路の開通を最重要事業と位置付け、県への要望と事業への協力を継続しています。

開通後には、産業の大動脈として大きな役割を果たすとともに、災害時の避難路の役割も期待される道路であり、早期の開通が望まれます。



早期の開通が望まれる「豊丘・豊浜線」

## 3月定例会の日程（予定）

3月6日(月) 9時30分～	初日	議案上程・質疑 等
3月7日(火) 9時30分～	二日目	一般質問
3月17日(金) 9時30分～	最終日	委員長報告・質疑・討論・採決 等

※都合により変更となる場合があります。

※議会の日程は、町ホームページでもご覧いただけます。

■本議会の一般質問は、ケーブルテレビ（CCNC）で放送されます。

ケーブルテレビの放送予定日

3月13日(月) 午後10時～ 121ch

3月18日(土) 午前10時～ 121ch

本定例会の会議録は、3月上旬ごろ、町公式ホームページに掲載する予定です。